

OPEN

毎週木曜日、
9時から12時までの
予約外来

● ● ● ● ● 下肢救済を目的とした創傷・フットケア外来 ● ● ● ● ●

糖尿病患者の増加とともに、神経障害や血管障害による足病変も年々増加しており深刻な問題となってきています。本邦における糖尿病患者の足潰瘍を合併する頻度は1~2%と推測されており、この内多くの患者が切断を余儀なくされているのは明らかです。欧米では、足の専門医（足病医）が糖尿病性足病変の治療に大きな役割を果たしていますが、足病医のいないわが国では、さまざまな科で治療を行っているのが現状です。

当院では、創傷治癒の専門家である形成外科が中心となり、糖尿病性足病変の治療に取り組んできました。私たちのこれまでの経験から、エビデンスに基づいた治療と形成外科医の植皮や皮弁といったスキルを用いることにより、下肢切断を回避できる症例が意外と多いことがわかってきました。

そしてこの度、一人でも多くの患者の下肢救済を目指し、創傷・フットケア外来を開設させていただきました。

形成外科
医長

堀内 勝巳



対象患者は、足に潰瘍のある方や術後で再発の危険性の高い方です。この外来では、患者一人の診察に30~40分の時間をかけ、医師の診察・処置のみではなく、皮膚・排泄ケア認定看護師、糖尿病看護認定看護師、形成外科外来看護師が病気についての教育や創の処置方法などの指導を行っております。

また、糖尿病は全身疾患であることから他科との連携が重要となります。この外来を中心に、総合病院である利点を生かし、チームアプローチによる治療にも積極的に取り組んでおります。

Team Approach for Limb Salvage

